

# 校区の魅力…中京学院大学を訪ねて

令和6年11月28日

2年生は10月29・30日、瑞浪市内を中心とした東濃全域に渡る範囲において、職場体験学習を行いました。働くことの難しさ・厳しさとともに、やりがいや喜びを味わうことができたら素晴らしいことですが、2日間ではそれも難しいことかもしれません。働く側の立場を実感する、働くということについて改めて考えるということができれば大きな価値があります。

そして、冬休み明けには、高校調べを行っていきます。高校の種類、校風、学べる内容など、多くのことを調べて、自分の進路希望先を決めていきっかけとしてほしいと思います。

さて、今回は就職と高校の間に位置付く『大学』について学ぶ機会を設定しました。中学生のうちに大学のことについて学ぶ機会はほぼありません。しかし、大学進学率が50%を超えている現在、大学について知ることも意味があると思います。まして、北中校区内に中京学院大学が存在することから、是非実施したいとお願いしたところ、快諾してくださいました。

11月27日、3台の大学バスが学校まで迎えに来てくださり、中京学院大学に向かいました。

日程としては以下の通りです。

- 1 全体説明 ・大学について ・大学での学びについて
- 2 学内見学 ・グループごとに学内を巡り、様々なポイントを紹介して頂きました。  
(学生さんの案内による)
- 3 昼食 ・学食にて名物の唐揚げランチをいただきました。
- 4 模擬授業 ・経営・看護・保育の3学部の内、2学部の模擬授業を受けさせて頂きました。1コマ30分の2コマです。大学の先生方が中学生のことを考え、創意工夫された授業であることが伝わってきました。





**日頃体験することのできない貴重な機会を設けて頂きまして、誠に有難うございました。  
また、様々なご配慮・お心遣いに感謝申し上げます。  
以下は参加した中の2名の感想です。**

☆私は今日の大学見学を通して感じたことは2つあります。

1つ目は、中学・高校・大学は全てつながっていることです。自分の夢を叶えるための準備期間として、高校・大学があることがわかりました。大学は高校とは違い、自分の受けたいところに入って、それを専門的に勉強できるから、自分の夢、好きなことに熱中できるからすごくいいなと思いました。

2つ目は、自分で考えて動くことが大切だということです。自分で考えて学習する、自分で決めたところで勉強するなど、誰かが何もかもを決めてくれるわけではないから、大人への一歩として自分で考えることが大切だとわかりました。また、経営の授業を受けたときに、「時間を守ることが大切」ということを教えていただきました。中学校のように遅れたら待っていてくれるなど甘いことは、社会に出たらはあり得ないと思うから、時間を守ることがこれからも大切にしていきたいです。今回教えて頂いたことをもとに、これからの学校生活に活かしていきたいです。有難うございました。(溝口 希歩さん)

☆初めて大学に行って、中学校と印象が違って楽しかったです。今日の見学や体験で、将来についてや進路についてたくさん学ぶことができました。特に印象に残っていることは、1講座目の経営学部の授業です。おにぎりの価格を考えて、誰に売りたいか、どういう思いで売りたいかを考えることがとても勉強になりました。将来、社会に出た時に活かしていきたいです。

また、中京学院大学は地域貢献もしていてすごいと思ったので、私も瑞浪市に貢献したいと思いました。私は将来、どのような職業をしたいか決まっていますが、今日の体験で看護・保育に少し興味をもったので、オープンキャンパスに行き、大学のことをもっと知って進路のことを決めていきたいと思いました。(脇山 呼幸さん)